

びわ湖・長浜の観音文化

～これからもまもりつづけるために～

日時 2025年2月22日(土)
13:00～16:00(12:30開場)

会場 東京国立博物館
平成館大講堂

参加費無料

定員350名

第一部

〈事業説明〉

「長浜の観音文化振興事業の10年」

◎講師 秀平文忠 長浜市学芸員



〈講演会〉

「地域と仏像史

－知るために、まもりつづけるために－

◎講師 山本勉

鎌倉国宝館 館長

半蔵門ミュージアム 館長



第二部

〈座談会〉

「地域の仏像の魅力

－若い世代に引き継ぐために－

◎コーディネーター 秀平 文忠

◎ゲスト 田中ひろみ・みほとけ

久保沙里菜・宮澤やすみ

申込方法

参加をご希望の方は、
右記の専用申込フォームにて
お申込みください。



申込受付

1/14(火)
正午から

観音の里 ～長浜～

琵琶湖の北岸に位置する滋賀県長浜市は、交通の要所にあたり、古くから仏教文化が花開きました。奈良・平安時代以降に栄えた湖北の寺々は、戦国の動乱期にあって大きく変容し、村々にあった天台寺院の多くは無住・廃寺化。そこに残された尊像たちは、宗派・宗旨の枠を超越して、村の守り本尊として民衆に迎

えられていきました。

長浜市が「観音の里」と称されるゆえんは、ただ単に観音像が、また指定文化財が多く存在しているからだけではなく、これらを献身的に守り継いできた民衆による信仰の歴史と、そこに息づく独自の精神文化や生活文化(観音文化)にあります。

[開催概要]

日時：2025年2月22日(土) 13:00～16:00 (12:30開場)

会場：東京国立博物館 平成館大講堂(東京都台東区上野公園13-9)

参加費：無料 定員：350名

第一部 事業説明「長浜の観音文化振興事業の10年」
講師：秀平文忠(長浜市学芸員)
講演会「地域と仏像史 一知るために、まもりつづけるために」
講師：山本勉(鎌倉国宝館 館長、半蔵門ミュージアム 館長)

第二部 座談会「地域の仏像の魅力 一若い世代に引き継ぐために」
コーディネーター：秀平文忠
ゲスト：田中ひろみ、みほとけ、久保沙里菜、宮澤やすみ



事前申込制(先着順)

参加ご希望の方は
申込フォーム(QRコード)からお申込みください。
◎受付開始 2025年1月14日(火) 12時正午から

東京国立博物館の鑑賞券をお持ちの方がイベントに参加される場合も【西門】から入場いただきます。あらかじめご了承ください。



❖ 出演者プロフィール

第一部



鎌倉国宝館 館長
半蔵門ミュージアム 館長

山本 勉

1953年横浜市生まれ。東京芸術大学大学院博士後期課程中退。東京国立博物館勤務、清泉女子大学文学部教授をへて、現在、東京国立博物館名誉館員、清泉女子大学名誉教授。2021年より鎌倉国宝館長。2022年より半蔵門ミュージアム館長。主な著書に『日本仏像史講義』(平凡社新書)、『運慶大全』(監修、小学館)、『新版 仏像 日本仏像史講義』(平凡社)、『完本仏像のひみつ』(朝日出版社)、『鎌倉時代仏師列伝』(共著、吉川弘文館)など。

第二部



イラストレーター
文筆家

田中 ひろみ

奈良市観光大使、「丸の内はんじゃ会」代表「高野山・熊野を愛する100人の会」メンバー。京都の三十三間堂で仏像に恋に落ちて以来、日本全国の仏像に会いに行き、仏像本を多数出し、講演や仏像ツアーも行う。累計約20万部のベストセラー『仏像なぞりがき』シリーズほか著書約70冊。執筆やテレビラジオ出演や講演会などで活動中。



お笑いタレント

みほとけ

2015年アイドルデビュー、2016年ミス鎌倉。2018年アイドル卒業後、仏像・お寺の面白さを発信するべく、自身を本名の「みほとけ」と「みほとけ」を掛け合わせ「みほとけ」と名乗り、ピン芸人として再デビュー。自称「お寺・仏像研究家」として年間1000以上のお寺を訪問。拝観した仏像は1万体を超える。講演、美術館・博物館とのコラボ、自身プロデュースの作務衣の発売など、仏像にまつわる活動を幅広く展開中。



長浜市学芸員

秀平 文忠

1968年広島県生まれ。同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士課程後期中退。専門は仏教彫刻史。平成11年4月、長浜市総務部曳山博物館開設準備室学芸員として奉職。以後、数多くの博物館で学芸員を経て、令和6年4月から浅井歴史民俗資料館に勤務(現職)。著書：共著『近江湖北の山岳信仰』(市立長浜城歴史博物館)など。



フリーアナウンサー

久保 沙里菜

情報番組のリポーター、イベント MC、ラジオパーソナリティの他、仏像の魅力を伝えるべく仏像インフルエンサーとしても活動中。全国各地の仏像巡りをしながら仏像やお寺のイベント、講演会の講師、仏像展のアンバサダーを務める。



歌う神仏研究家
小唄師範
三味線奏者

宮澤 やすみ

幼少より日本文化と音楽に親しむ。ロック、ジャズの活動に傾倒するもミニマルな三味線音楽「小唄」に魅了され、神楽坂の家元入門。2008年師範取得後は、小唄指導のほか各地で演奏活動。神仏研究家としても知られ、NHK総合「ひるまほっと」、TBS「マツコの知らない世界」などテレビ・ラジオ出演や講演多数。『仏像の光と闇』(水王舎)ほか仏像関連の著書多数。